



茨労発基 0228 第 1 号
令和 4 年 2 月 28 日

独立行政法人労働者健康安全機構
茨城産業保健総合支援センター長 殿

茨城労働局長



死亡災害の減少に向けた取組のより一層の強化について（要請）

平素より、労働災害防止をはじめとする労働基準行政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、茨城労働局では、第 13 次労働災害防止推進計画（以下「13 次防」という）を策定し、第 12 次労働災害防止推進計画期間中と比較して、死亡災害を 15% 以上減少させること等を目標に掲げ、各種対策を推進しているところです。

しかしながら、13 次防の最終年である本年 1 月 1 日以降、既に 6 件の死亡災害が発生しており、大変憂慮すべき事態となっています。

死亡災害の内容は別添 1 のとおりですが、事故の型別では、「はさまれ・巻き込まれ」「墜落・転落」によるものが各 2 件、「切れ・こすれ」「転倒」によるものが各 1 件となっています。

また、6 件中 5 件が機械による災害となっており、うち 3 件が機械の修理・点検といった非定常作業において発生しています。

つきましては、死亡災害が多発している状況に歯止めをかけ、同種災害の発生を防止するため、貴団体におかれましても、傘下会員事業場等に対する周知・指導等、労働災害防止に向けた取組をより一層強化していただきますよう要請いたします。

【添付資料】

- 1 令和 4 年 死亡災害事例
- 2 リーフレット「死亡災害が多発しています！」
- 3 リーフレット「機械による労働災害を防止しましょう」
- 4 リーフレット「エンジンカッターによる労働災害を防止しましょう」